【戦評シート】 第 43 回秋田県クラブバスケットボール選手権大会
兼第 30 回東北クラブバスケットボール選手権大会秋田県予選大会
（女子決勝）

平成２８年６月１２日（日）			協会名： 秋田県 バスケットボール協会	
場　所：湯沢市総合体育館			記入者： 船　山　育　士	
チームＡ Ｋ・Ｏ・Ｃ☆ｅｃｏ	６８	２２－１６ １７－　７ １６－１３ １３－１９	５５	チームＢ おばこ倶楽部

スターター	チームＡ：	＃１，＃３，＃４，＃６１，＃７８
	チームＢ：	＃５，＃１１，＃１３，＃１４，＃１６
ディフェンス (試合開始時)	チームＡ：	■ マンツーマン　□ ゾーン（　　）　□ その他（　　）
	チームＢ：	■ マンツーマン　□ ゾーン（　　）　□ その他（　　）

女子決勝は，4 連覇を狙う K･O･C と準決勝で延長戦を制し、6年ぶりに決勝進出を果たしたおばこ倶楽部の対戦となった。

第1Q，両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。出だし、K･O･C は＃61金のインサイドやハイポストから得点を重ねる。一方のおばこは＃14三浦、＃16藤原の3P で応戦し、開始3分8－8の同点とする。5分過ぎには、K･O･C はメンバーを5人総入れ替えし、豊富な運動量から速攻を繰り出し、＃12鎌田が得点し18－11としたところで、おばこはタイムアウトを請求する。おばこは＃10千葉、＃13鎌田がハイポストからのジャンプシュートで追いかけ、22－16で第1Q を終了する。

第2Q，おばこは＃6加賀谷のドライブインからフリースローをもらい、それを確実に決める。K･O･C はアウトサイドからインサイドへ、インサイドからアウトサイドへとボールをよく動かし、＃78佐藤、＃61金がインサイドで確実に得点を重ねる。おばこは、ドライブインやアシストパスからノーマークを作るも、フィニッシュが決まらず、徐々に点差が開く。残り 3 分、35－20となったところで、おばこは前半2回目のタイムアウトを請求する。＃13鎌田のインターセプトからの得点等で応戦するが差は縮まらず、39－23で前半を折り返す。

第3Q，前試合で体力を消耗したおばこに対し、K･O･C はメンバーチェンジを繰り返して、ディフェンスプレッシャーを強めていく。おばこは、＃7柳沼ミドルレンジからのショットやゴール下、＃14三浦の速攻で得点し、追い上げを試みる。しかし、K･O･C は、変わって出てきたメンバーが速攻やゴール下で得点し、追撃を許さず、残り1分には51－31の20点差と引き離す。結局55－36で第3Q を終了する。

第4Q，　疲れが見え始めたおばこに対し、K･O･C は、＃伊藤のドライブ、＃38佐藤の速攻等の3連続ゴールで得点を重ねる。K･O･C は、3分経過したところで、全員メンバーを入れ替える。対するおばこは、＃7柳沼を中心に＃5小松、＃15菊地の連続3P 等で必死に追い上げを図る。しかし、K･O･C は、コートに戻った＃61金が、ゴール下で着実に得点を重ねておばこの追い上げを許さず、68－55でゲームを終了する。

K･O･C は、ベンチメンバー全員がゲームに出場しながら、終始危なげない試合運びで、4連覇を果たした。